

社会医療法人
康陽会

なかじま

TAKE FREE

2018年
07月発行 vol. 16

ご自由にお持ちください
[中嶋病院 地域医療連携室 広報誌]

TOPIC
1

Doctor's Pick up

- 整形外科 島谷 剛美 -

TOPIC
2

Nakajima Zoom up

- 回復期リハビリテーション病棟 -



回復期とは、主に脳血管疾患や運動器疾患(骨折など)により治療が必要になった方が、急性期の状態を経て状態が安定し始めた頃からを指します。この回復期といわれる時期に集中的なリハビリテーションを行い、可能な限り元の生活に近い状態に戻るよう患者様だけでなく医師や看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャル・ワーカー、看護補助などがチームになってともに治療を進めていく病棟です。

介護老人保健施設
けやき

KOUYOKAI GROUP INFO

- 康陽会グループ インフォメーション -

介護老人保健施設けやきでは、ご利用者、ご家族が安心して在宅生活が続けられるようスタッフ一同で在宅支援をしていきます。



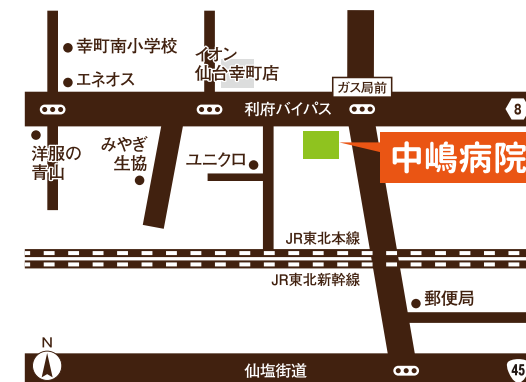
短期間に集中的に身体の機能を上げるため専門の職員によるリハビリテーションを行います。



生活のなかの動作が出来るようにするための生活期リハビリテーションを行います。

通所リハビリテーションでは、リハビリに特化した短時間(1~2時間)や半日(午前・午後)での利用も可能です。

利用のお申し込みについては下記窓口まで
けやき相談室 TEL 022-257-2503



ご意見・ご要望・お問い合わせはコチラまで

中嶋病院 [地域医療連携室] renkei@nakajima-hs.or.jp
TEL 022-292-0820 FAX 022-292-0508
〒983-0835 宮城県仙台市宮城野区大槻15-27

◎ 社会医療法人 康陽会
中嶋病院 ☎ 022-291-5191
介護老人保健施設けやき ☎ 022-257-2020
介護老人保健施設コジーケア・ホーム ☎ 022-255-2525
介護老人保健施設メール小田原 ☎ 022-267-5121
仙台東部訪問看護ステーション ☎ 022-296-2055
中嶋ケアプランセンター ☎ 022-292-0507
コジーケアプランセンター ☎ 022-396-0965
ケアプランセンターメール小田原 ☎ 022-267-5124
岩切地域包括支援センター ☎ 022-255-2524

◎ 社会福祉法人 康陽会
特別養護老人ホームJ&B ☎ 022-291-2216
介護付有料老人ホームJ&B ☎ 022-291-2217
清水沼沢サービスセンター ☎ 022-291-2218
グループホームやわらぎ ☎ 022-292-2531
グループホームJ&B小田原 ☎ 022-714-5088

広報誌についてのお問い合わせ
中嶋病院 [法人管理室]
TEL 022-292-3277



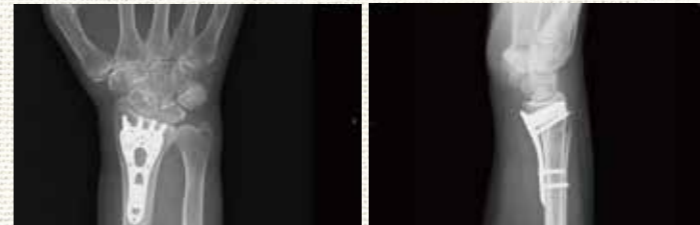
「より良い機能回復」 ～中嶋病院での勤務1年で考える医療への思い～

整形外科 島谷 剛美

高齢化率(65歳以上の人口の割合)が7%を超えると高齢化社会、14%を超えると高齢社会、21%を超えると超高齢社会と言われます。日本では、1970年に高齢化社会、1994年に高齢社会、2007年に超高齢社会となり、2017年には27.4%と高齢化が進んでいます。

それに伴い、骨粗鬆症による骨折も増加しており、ここ1年の整形外科の手術件数は950件程でした。骨粗鬆症による骨折には、大腿骨頸部(太ももの付け根)、脊椎(せぼね)、上腕骨近位部(肩)、橈骨遠位端(手首)などの骨折があります。当院でも1年間で大腿骨頸部骨折435件、上腕骨近位部骨折34件、橈骨遠位端骨折96件の手術が行われました。その中でも、橈骨遠位端骨折に対していくつかの工夫をして手術を行っていますので紹介させていただきます。

橈骨遠位端骨折とは手首の骨折です。ずれの少ないものや不安定性の少ないものではギプスで固定して経過を見ることもありますが、骨折部がずれて変形や痛みが残存したり、また長期の安静・固定により手指の拘縮(手指がかたまってしまい、

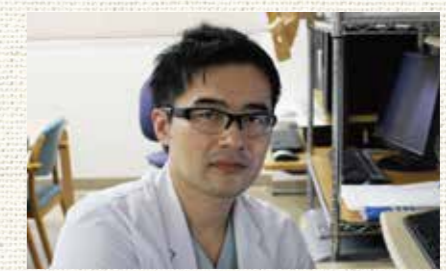


橈骨遠位端骨折レントゲン

動かしにくくなる)が起こることもあることから、最近では高齢者でも手術を行い、使える手指を目指して早期からリハビリを行うことが多くなりました。

従来一般的に行われてきた手術では、皮切(皮膚の傷の長さ)は数cm(4-5cmでしょうか)であり、骨の表面に存在する方形回内筋※1という筋肉を切って手術が行われてきました。私の場合は、典型的な橈骨遠位端骨折の症例に対しては、皮切は1.5cmで行い、方形回内筋は切らずに、筋肉の下にプレートをすべり込ませて骨を固定する方法で手術を行っています。そのため通常の方法よりは、痛みや腫れが少なく、動きも良いため早期の日常生活への復帰が可能になります。(しかし、骨折の範囲が広い、関節内の骨折のずれが大きいなど重症度が高い症例では必要に応じて皮切も延長しますし、筋肉の切開も行います)

中嶋病院に勤務して1年が経過しました。患者様への負担軽減と、より良い機能回復を目標に常に工夫して治療を行うように努力していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



※1 方形回内筋・・・人間の上肢の筋肉で前腕の回内を行う。尺骨下部(遠位1/4)の前面から起こり、橈骨下端(遠位1/4)の前面で停止する。

TOPIC 2 Nakajima Zoom up

退院後の生活を見据えた リハビリ支援

【Q】どんな病棟ですか？
当院の回復期リハビリ病棟ではリハビリの提供はもちろん、リハビリ以外の時間をいかに過ごして頂くかが重要と考えています。いわゆる実際の日常生活場面で、患者様が持つ能力を十分に発揮できることが退院後の生活の質を高めることに繋がると考えています。そんな考えをもとに新たな取り組みを始めましたので、その一部を紹介させて頂きます。

【A】当院の回復期リハビリテーション病棟は50床を有しています。入棟患者様の主な疾患として大腿骨頸部骨折(脚の付け根の骨折)が多く、約5〜6割を占めています。その他に脳血管疾患や脊柱の骨折等の方が入院されています。それらの患者様に対し当病棟では今年4月にスタッフを33名に増員し、1日3回(最大3時間)のリハビリを提供できる体制を整えました。

【Q】どんな結果が出ていますか？
【A】入院前に歩行されていた方の約8割が当院でリハビリを実施した後、再び歩行して生活できるまでに回復されています。入院という一大イベントの後、再び歩ける喜びを感じながら生活して頂けることがスタッフ一同の願いでもあります。

【Q】どんなことに取り組んでいるのでしょうか？
【A】当院は高齢の方の入院も多く、再び元の生活に戻ることがひとつの大きな目標となります。我々は退院に向けてリハビリの提供だけでなく、生活動作一つ一つもリハビリの一環として捉え患者様の生活場面に深く関わるため、少人数のチームを複数作り各々のテーマに沿って活動を始めました。例えば今後の方針として、リハビ



リでは歩けるのに病棟に戻ったら歩いてトイレまで移動できない。そんな方に対し、歩行の介助方法を病棟スタッフに指導したり、病棟を回診してどのような環境設定を行えば一人で歩くことができるかを、チームで検討していければと思っています。チーム活動を通して患者様が自信を取り戻し、退院後の生活をより快適に送って頂くための最適な準備をしていければと思っています。また復職支援や自動車運転再開支援も行っており、退院後の社会参加を応援しています。

医療連携施設のご紹介

社会福祉法人 ウェルフェア仙台 特別養護老人ホーム 大年寺山ジェロントピア

風光明媚な環境のもと、茂ヶ崎の由緒ある地で、各専門職と医療との連携を築きながら、ご利用者様に満足して頂けるよう取り組んでおります。

特別養護老人ホーム：50名
ショートステイ：20名

食事 Food

住所：仙台市太白区茂ヶ崎3丁目12-1 TEL：022-262-1555/FAX：022-262-1554